	ロー芸品	等専門学校	開講年度	令和06年度 (2	2024年度)	授業科	目 コンピュータ	 /サイエンス		
科目基礎		<u> </u>	ארו דויינותו	13/100 1/2 (2	10211121	1,24111	<u> </u>	<u> </u>		
科目番号	∠ I □ † IX	140201			科目区分	声 門				
授業形態		講義					/ 必修 単位: 2			
開設学科			生物応用化学科			2	+ IZ. Z			
引設期		通年	<u> </u>			2				
<u>) </u>		イチからし	イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラ (K-SEC開発教材)							
旦当教員		勝浦創	7648/77							
到達目標	票									
2.問題 3.問題 4.情報 5.プグ 6.グルー	解決にコン 対産権法ので を収集しそれ 算ソフトの プラミングで ープワーク	ビュータが利用 中で著作権、商 れらを適切にア 基本的な使用法 の基本的な考え	できることを理り 標権、意匠権の ウトプットする引 を理解すること 方を理解すること	「考え方」について =段としてのプレゼ	理解し、モラルを' ンテーションにつ	ハて理解する	こと			
ルーブリ	ノツク		T田おりもいかいます	~~	押が生が上\Zい去し。		士がいまし かりょ			
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの	の目安		
评価項目1	L			ィの重要性につい ュリティ対策を自	情情報セキュリラ いて理解し、セコ 他者のサポートを 。	情報セキュリティの重大性につ て理解し、セキュリティ対策を 3者のサポートを得て実施できる		情報セキュリティの重要性につい て理解できない。		
評価項目2	2		問題解決にコン	ニュータが利用で し、実行できる。	問題解決にコンと	ニュータが利用 よる。	用で 問題解決にコン きることを理解	問題解決にコンピュータが利用で きることを理解できない。		
					知的財産権法の中	中で著作権、済	商標 知的財産権法の			
評価項目3	3			考え方」について を守ることができ	権、意匠権の「 ³ 理解し、モラルを る。		ハて 権、意匠権の でき 理解し、モラル ない。	「考え方」について レを守ることができ		
評価項目4			トプットする手	れらを適切にアウ 段としてのプレゼ ついて理解し、実	情報を収集しそれ トプットする手段 ンテーションにこ	みとしてのプロ	アブ トプットする	情報を収集しそれらを適切にアウトプットする手段としてのプレゼンテーションについて理解できない。		
評価項目5			表計算ソフトの 理解でき、実験 利用できる。	基本的な使用法を 等のデータ処理に	表計算ソフトの基本的な使用法を 理解できる。		表を表計算ソフトの 理解できない。	表計算ソフトの基本的な使用法を 理解できない。		
評価項目6			を理解でき、実際ラミングができる		プログラミングの基本的な考え方を理解できる。			プログラミングの基本的な考え方 を理解できない。		
評価項目7	7		グループワーク ーミングの発想 との合意形成が	でのブレインスト 法を理解し、他者 できる。	グループワークで ーミングの発想法	でのブレイン とを理解でき	^{ヘト} ーミングの発	グループワークでのブレインスト ーミングの発想法を理解できず、 他者との合意形成ができない。		
学科の至]]達目標耳	頁目との関係	ŧ							
- , , , , , , ,		明確なもとも (で)) コミュニケーシ	ョン能力 (E)						
工学基礎知		起門次能力(し)								
工学基礎5 教育方法		情報化社会 特に情報セ 事前学習:消	キュリティ対策に 習室のコンピュ・	は日々変化しており -夕を使って積極的	、それに伴い常に皆 に使い方に慣れて	最新の対策を おいてくださ	を養うことを目的とす 身に着けておく必要だい。 ない。 技法、卒業研究、後期 知識を習得しておくる	があります。		
工学基礎的 教育方法 概要		情報化社会 特に情報セ 事前学習:領 関連科目:び卒業研究 授業中の演	キュリティ対策は 習室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に活 習として、発表内	は日々変化しており ータを使って積極的 -ブ科学実験、創造 5用し、知的財産権 1容、発表資料、課	、それに伴い常に 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報! 題演習を実施する。	最新の対策を おいてくださ ンテーション リテラシーの これら実施	身に着けておく必要だい。 たい。 技法、卒業研究、後其 知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 忍する。		
工学基礎的 教育方法 既要 受業の進&	去等 ————————————————————————————————————	情報化社会 特に情報セ 事前学習:領 関連科目:び卒業研究 授業中の演	キュリティ対策は 習室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に活 習として、発表内	は日々変化しており ータを使って積極的 -ブ科学実験、創造 5用し、知的財産権 1容、発表資料、課	、それに伴い常に 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報! 題演習を実施する。	最新の対策を おいてくださ ンテーション リテラシーの これら実施	身に着けておく必要だい。 らい。 技法、卒業研究、後期 知識を習得しておくる	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 忍する。		
工学基礎的 教育方法	大等 か方・方法 D区分	情報化社会セ 特に情報記 事前連科研究 び卒業研の演 授業中の演 データ処理 さい。	キュリティ対策に 背習室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に注 習として、発表内 とプレゼンテーシ	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常にはいまた。 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報: 題演習を実施する。 高度情報化社会を生	最新の対策を おいてくださ ンテーション リテラシーの これら実施 主きるための	身に着けておく必要だい。 たい。 技法、卒業研究、後期 知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 図する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎的 教育方法 概要 受業の進む 主意点 本科目の	大等 か方・方法 D区分	情報化社会セ 特に情報記 事前連科研究 び卒業研の演 授業中の演 データ処理 さい。	キュリティ対策に 背習室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に注 習として、発表内 とプレゼンテーシ	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常にはいまた。 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報: 題演習を実施する。 高度情報化社会を生	最新の対策を おいてくださ ンテーション リテラシーの これら実施 主きるための	身に着けておく必要だい。 たい。 技法、卒業研究、後其 知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 図する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎的 教育方法 概要 受業の進を 注意点 本科目の Webシラク で関業の原	大等 か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履何	情報化社会特に情報で 特に情報で 関連科研究 授業中の演 データ処理 ざい。 履修要覧の科目	キュリティ対策に 第四室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に活 習として、発表体 とプレゼンテーシ 国区分では表記がる	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常には 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を全 ること。本科目は	最新の対策を おいてくださ シー・ラシーの これら実施 ききるための 履修要覧(p.	身に着けておく必要だい。 たい。 大は法、卒業研究、後其知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣	があります。 別は主に、実験およ ととが重要である。 習する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎的 教育方法 概要 受業の進を 注意点 本科目の Webシラク で関業の原	大等 か方・方法 D区分 バスと本校	情報化社会特に情報で 特に情報で 関連科研究 授業中の演 データ処理 ざい。 履修要覧の科目	キュリティ対策に 背習室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に注 習として、発表内 とプレゼンテーシ	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常にはいまた。 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報: 題演習を実施する。 高度情報化社会を生	最新の対策を おいてくださ シー・ラシーの これら実施 ききるための 履修要覧(p.	身に着けておく必要だい。 たい。 大は法、卒業研究、後其知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 図する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎的 教育方法 既要 受業の進め 主意点 本科目の Webシラク 受業の原	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履化	情報化社会特に情報で 特に情報で 関連科研究 授業中の演 データ処理 ざい。 履修要覧の科目	キュリティ対策に 第四室のコンピュ・ 前期は主にグルー のデータ処理に活 習として、発表体 とプレゼンテーシ 国区分では表記がる	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常には 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を全 ること。本科目は	最新の対策を おいてくださ シー・ラシーの これら実施 ききるための 履修要覧(p.	身に着けておく必要だい。 たい。 大は法、卒業研究、後其知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣	があります。 別は主に、実験およ ととが重要である。 習する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎 教育方法 既要 受業の進む 主意点 本科目の Webシラク 受業の原	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履化	情報化社会特に対している。 特別では、対している。 授業中の演 がデータ処理 ができない。 を生の区分	キュリティ対策に 関習室のコンピュー 前期は主にグルー のデータ処理に注 習として、発表内 とプレゼンテーシ I区分では表記がる	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常には のに使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を会 一ること。本科目は	最新の対策を おいてくださ ンテーショーの これら実施 主きるための 履修要覧(p.	身に着けておく必要が い。 ない。 大は法、卒業研究、後期 知識を習得しておくこ 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣 9)に記載する「③遅	があります。 別は主に、実験およ ととが重要である。 習する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎 教育方法 既要 受業の進む 主意点 本科目の Webシラク 受業の原	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履化	情報化社会特に情報という。 特に情報という。 授業中の演 授業中の選 データ処理 さい。 履修要覧の科目 多上の区分	キュリティ対策に 関督室のコンピュー 前期は主にグルー のデータ処理に浸 習として、発表内 とプレゼンテーショ I区分では表記がる	は日々変化しており ータを使って積極的 - クロイ学実験、創造 が 別の財産権 188、発表資料、課 ションはこれからの	、それに伴い常には のに使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を会 一ること。本科目は	最新の対策をおいてくださ おいてくださ ンテーショーの これら実施 主きるための 履修要覧(p. 週ごとの到達	身に着けておく必要が い。 ない。 大は法、卒業研究、後期 知識を習得しておくる 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣 9)に記載する「③遂 □ 実務経験の	があります。 別は主に、実験およ ととが重要である。 習する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎的 教育方法 既要 受業の進め 主意点 本科目の Webシラク 受業の原	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履化	情報化社会セラットでは、 特に情報では、 特に情報では、 一切では、 一つでは、 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、 一	キュリティ対策に 関督室のコンピュー 前期は主にグルー のデータ処理に記 習として、発表内 とプレゼンテーショ I区分では表記がる 図 ICT 利用	は日々変化しており 一夕を使って積極的 一夕科学実験、創造 5月し、知的財産権 3容、発表資料、課 ションはこれからの ことなるので注意す	、それに伴い常には のに使い方に慣れて 化学実験、プレゼ: については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を会 一ること。本科目は	最新の対策をおいてくださ おいてくださ ンテーショーの これらましま これらあの 履修要覧(p.	身に着けておく必要が い。 ない。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大	があります。 別は主に、実験およ ととが重要である。 習する。 別に取り組んでくだ		
工学基礎的 教育方法 概要 受業の進む 主意点 本科目の Webシラル 授業の原	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履化	情報化社会で活動を 関連 では できます できます できます できます できます できます できます できます	キュリティ対策に 東京学のコンス 東京学のコンス 前期は主にグルーのデータ処理に活 習として、発表内 とプレゼンテーション 区分では表記がる 図 ICT 利用	は日々変化しており ータを使って積極的 ーグ科学実験、創造 5用し、知的財産権 2容、発表資料、課 ションはこれからの ことなるので注意す	、それに伴い常には 、では、一般に使い方に慣れて いては、情報については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を会 である。本科目は は、「ない」という。	最新の対策をおいてくません。 おいてくまさい。 シンテテカらまた。 リーシン実施 まきるための。 を変覧(p. 2.7 レインフィー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ	身に着けておく必要が い。 ない。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大きでは、 大い。 大きでは、 大い。 大の容を定期試験で確認 基礎となります。 真剣 (1) 実務経験の (2) 実務経験の (3) とは、 (3) とは、 (4) となります。 (5) となります。 (6) となります。 (7) となりまななりまななりまななななななななななななななななななななななななななな	があります。 用は主に、実験およことが重要である。 型する。 別に取り組んでくだ 軽択必修科目」である のある教員による授		
工学基礎的 教育方法 概要 受業の進を 注意 科目の Webシラの 授プアクテー 授業計画	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履化	情報化社会で消費を担けている。	キュリティ対策に 東国室のコングリー 前期は主にグルーのデータ処理に沿 習として、発表内 とプレゼンテーション ICT 利用 (業内容) 題解決の方法論 (アレゼンテーション)	は日々変化しており ータを使って積極的 ーグ科学実験、創造 5用し、知的財産権 2容、発表資料、課 ションはこれからの ことなるので注意す	、それに伴い常にはいては、情報のに使い方に慣れていたは、情報のでは、情報のでは、情報のでは、情報のでは、情報のでは、情報のでは、ままままでは、ままままままままままままままままままままままままままままま	最新の対策をおいてくません。 おいてくました。 アーシン実施をさいます。 まきるための。 を変し、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	身に着けておく必要が い。 をい。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大のをではいます。 大の容を定期試験で確認 基礎となります。 真剣 (大の) (大o) (to) (to)	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 図する。 別に取り組んでくだ 選択必修科目」である。 のある教員による授い。 一プWork」		
工学基礎的 教育方法 概要 授業の進を 注意点 本科目の Webシラク	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履何 	情報化社会で活動を できます できます できます できます できます できます できます できます	キュリティ対策に 東国学のコンプリー 前期は主を処理に活 習として、発表内 とプレゼンテーション ICT 利用 業内容 題解決の方法論 プレゼンテーション ループ毎の新製品	は日々変化しており 一夕を使って積極的 一夕を使って積極的 一ブ科学実験、創造 5用し、知的財産権 空容、発表資料、課 ションはこれからの ことなるので注意す	、それに伴い常に 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を全 である。 高度情報化社会を全 である。本科目は である。 でる。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	最新の対策ださいが おいてシラン アーラン アーラン まきるための まきるための を要覧 で要覧 で との イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	身に着けておく必要が まい。 ない。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大い。 大	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 認する。 別に取り組んでくだ 選択必修科目」である のある教員による授動 一プWork」		
工学基礎的 教育方法 概要 受業 点 Webシラル 受業 アクテー 受業計画	か方・方法 D区分 バスと本校 属性・履何 	情報(情報) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別	キュリティ対策に 東国学のコンプリー 前期は主を処理に活 習として、発表内 とプレゼンテーション ICT 利用 業内容 題解決の方法論 プレゼンテーション ループ毎の新製品	は日々変化しており 一夕を使って積極的 一夕を使って積極的 一ブ科学実験、創造 5用し、知的財産権 日容、発表資料、課 マヨンはこれからの ことなるので注意す となるので注意す に関する講義 品開発案の作成 品開発のための企画	、それに伴い常に 別に使い方に慣れて 化学実験、プレゼ については、情報 題演習を実施する。 高度情報化社会を全 である。 高度情報化社会を全 である。本科目は である。 でる。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	最新の対策ださいが おいてシラン アーラン アーラン まきるための まきるための を要覧 で要覧 で との イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	身に着けておく必要が まい。 本学研究、後期 知識を習得しておくる 内容を定期試験で確認 基礎となります。真剣 9) に記載する「③達 9) に記載する「③達 「一ション」 「トーミング」「グル・ 「トーミング」「グル・ 「トーミング」「グル・	があります。 別は主に、実験およ ことが重要である。 認する。 別に取り組んでくだ 選択必修科目」である のある教員による授動 一プWork」		

		8週	Pov	verPointによる		4	F 42 11 1			
		9週			3プレゼンテーション資料作成 2	「Microsoft PowerPoint」「グループWork」				
		10退			製品のプレゼンテーション1	「Microsoft PowerPoint」「グループWork」				
		11退			製品のプレビンテーション1 製品のプレゼンテーション2	「プレゼンテーション」 4				
						「プレゼンテーション」 4				
	2ndQ	12退				品のプレゼンテーション3 「プレゼンテーション」				
		13退	り バー	イオインフォマ	ティクス入門 1 	「Microsoft Excel」				
		14退	り バー	イオインフォマ	ティクス入門2	I MICTOSOTT EXCEL				
		15退	り バー	イオインフォマ	ティクス入門3	5 [Microsoft Excel]				
		16退		明末試験 午電子図書館 <i>の</i>	利用に関する講義(初心者検索演習	2,3				
		1週)		がいに関する時我(1000·日 大米/英日	「特許検索」				
		2週	検索	点結果によるブ	プレゼンテーション資料製作 	5 Microsoft PowerPoint				
		3週	検乳	索結果によるブ	レゼンテーション資料製作	5 「Microsoft PowerPoint」				
	3rdQ	4週	プリ	レゼンテーショ	ン 1					
		5週	プリ	ノゼンテーショ	ン2	4 「プレゼンテーション」				
		6週	プレ	 /ゼンテーショ	ン3	4 「プレゼンテーション」				
後期		7週		引試験期間						
		8週]グラミングの]グラミングの		6				
		10退		コグラミングの		6				
		11退		コグラミング演	* *	5,6				
	4thQ	12退 13退		□グラミング演 □グラミング演	* *	5,6 5,6				
		14退		<u>コノフミング漢</u> コグラミング演	* *	5,6				
		15退								
		16退			プログラミング演習 5	5,6				
	アカリキ			習内容と到達			I	1		
分類			分野	学習内容	学習内容の到達目標	ための基礎的も幼児舎を活用で	到達レベル	授業週		
					情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		3	前6		
					論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		3	後9		
					コンピュータのハードウェアに関す 。	3	前13,前 14,前15,後 1,後2,後 3,後9			
					情報伝達システムやインターネットいる。	3				
			情報リテラ		同一の問題に対し、それを解決でき しうることを知っている。	3	後9			
基礎的能力	1 工学基礎	P 1	月報リテノシー	う 情報リテラ シー 	与えられた基本的な問題を解くため することができる。	3	後12,後 14,後15			
					任意のプログラミング言語を用いて 装できる。	3	後12,後 14,後15			
					情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。		3	前6		
					個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮が できる。		3	前6		
					インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している		3	前6		
					インターネット(SNSを含む)やコンな脅威に対して実践すべき対策を説	3	前6			
分野横断的 能力					な	3	前2,前4,前			
					円滑なコミュニケーションのための づち、繰り返し、ボディーランゲー	3	5,前8,前9 前2,前 10,前11,前			
	汎用的抗	支能 汎用的	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成すること	3	12,後6,後8 前1,前3,前 4,前5,前 8,前9			
					合意形成のために会話を成立させる	3	前1,前3,前 4,前5,前 8,前9			

				グループワーク、ワ 浅できる。	Jークショップ等 <i>の</i>	特定の合意形成の	方法を実	3	前1,前3,前 4,前5,前 8,前9
			Į.	書籍、インターネッ 収集することができ	ノト、アンケート等 きる。	により必要な情報	を適切に	3	前4,前5,前 8,前9,後 4,後5
				収集した情報の取揺 服を選択できる。	き選択・整理・分類	野などにより、活用	すべき情	3	前4,前5,前 8,前9,後 4,後5
				収集した情報源や引 あることを知ってい		・正確性に配慮す	る必要が	3	前4,前5,前 8,前9,後5
			1 E	青報発信にあたって 自己責任が発生する	ては、発信する内容 ることを知っている	R及びその影響範囲 。	について	3	前4,前5,前 8,前9,後5
				青報発信にあたって あることを知ってい		び著作権への配慮	が必要で	3	前4,前5,前 8,前9,後5
				目的や対象者に応じ 言(プレゼンテーシ		▶手法を用いて正し	く情報発	3	前10,前 11,前12,後 6,後8
			í	グループワーク、ワ 合理的な思考方法と の発想法、計画立案	フークショップ等に としてブレインスト ミ手法など任意の方	よる課題解決への ーミングやKJ法、 i法を用いることが	論理的・ PCM法等 できる。	3	前1,前3,前 5
評価割合									
	試験	3	発表	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合	†
総合評価割合	50	2	25	25	0	0	0	10	0
基礎的能力	0	C)	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	C)	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	50		25	25	0	0	0	10	0